



すさき

ふれあいネットワーク

社協だより

第130号

平成29年(2017)10月1日発行

編集発行

須崎市社会福祉協議会

〒785-0031

高知県須崎市山手町1-7

(0889)42-0736(代)

FAX 42-7876

印刷 有限会社 笹岡印刷所

42-0244



10月1日から全国一斉に
「赤い羽根共同募金運動」
が始まります



自分の街をよくするしくみ『赤い羽根共同募金』

「赤い羽根共同募金」は、運動創設70周年を迎えました。昭和22年に戦後復興の一助として始まり、多くの方々の温かい心に支えられながら、福祉活動の一端を担ってきました。70年の歴史の中で、時代の要請に合わせて、柔軟にその役割を拡大・変化させており、近年では高齢者の見守り活動や配食サービス、子育て支援などに、また、民間の社会福祉施設などの車両や備品、作業用機材の購入など施設を利用する方々の生活や作業環境の整備にと、幅広い分野で地域の福祉活動に役立てられています。

©L5/YWP・TX

～募金の使いみち～

昨年の須崎市の募金合計額は、4,176,283円でした。寄せられた募金はすべて高知県共同募金会へ送金し、共同募金会須崎市支会へは2,938,156円(総額の約70%)が助成されました。助成金は、須崎市内で活動をしている福祉団体や当事者組織などからの助成金要望額を基に、配分委員会で精査し、別表のとおり助成要望団体などに助成され、ひとり暮らし高齢者の支援活動や障がい者の社会参加活動、子ども会やスポーツ教室活動などの事業で地域の福祉活動に活用されています。

残りの約30%は、広域的事業として高知県内の福祉施設や団体の支援に充てられています。

※共同募金会須崎市支会では毎年、4月以降に助成金の申請受付を社協だよりなどで告知いたします。

(別表) 平成28年度募金による平成29年度事業への助成

団体等	助成額(円)	団体等	助成額(円)
須崎市民生委員児童委員協議会	582,000	須崎市精神衛生家族の会(双葉会)	29,000
須崎市子ども会連合会	48,000	かわうそ手話サークル	38,000
須崎市老人クラブ連合会	77,000	須崎市ボランティア連絡協議会	155,000
須崎市保育所保護者連合会	19,000	社会を明るくする運動実施委員会	19,000
青少年育成市民会議	48,000	すさきスポーツクラブ	58,000
須崎市身体障害者連合会	67,000	招き猫の会	29,000
須崎市手をつなぐ育成会	58,000	須崎市社会福祉協議会	1,673,156
須崎朗読研究の会	38,000	合 計	2,938,156

～みんなで支える地域福祉～

赤い羽根共同募金会には、毎年様々な福祉団体や当事者組織、社会福祉施設などから助成金の要望が寄せられています。赤い羽根共同募金は様々な団体などがより良い活動ができるように要望額を基に、募金の目標額を設定する計画募金とされています。その内容としては広域的事業に対するA助成目標と市町村単位の事業に対するB助成目標とがあります。

本年須崎市では、A助成目標額1,397,000円、B助成目標額3,000,000円として、総額4,397,000円を目標額に設定しまして募金運動に取り組みます。

みんなで支える地域福祉の基礎となる戸別募金の一世帯当たり目標額は600円です。町内会長さんや部落会長さん、民生委員さんなどの奉仕者を通じてご案内しますので、温かいご協力をよろしくお願いします。

～募金の取り組み内容～

- 戸別募金・・・町内会や部落会などを通じて、各世帯にご協力をお願いする募金です。
- 街頭募金・・・駅前やデパート、イベント会場などで募金への協力を呼びかけます。
- 学校募金・・・福祉教育や人を思いやる心の育成を目的に小中学校の児童生徒への協力を呼びかけます。(歳末たすけあい募金)
- 職域募金・・・企業や各種団体などで働くみなさんに募金のお願いをします。
- 大口法人募金・・・趣旨をご理解いただき、大口(1,000円以上)でご協力をいただく募金です。
- テーマ募金・・・地域福祉推進のために活動する団体に対し、共同募金運動への参加を募り、参加団体それぞれがその活動の必要性を直接市民に訴えることなどを通じて寄付金を募集するとともに、寄付者の選択に基づいて参加団体への助成を行います。(高知県共募)



共に学び支え合う 吾桑地区 認知症講座 第1回



厚生労働省の調査では65歳以上の4人に1人が認知症もしくはその予備軍と言われ、認知症は私たちにとって身近な病気であるという認識が広まりつつあります。

今回は、吾桑地区社会福祉協議会が主催し、吾桑地区民生委員児童委員、さくらの会、婦人会、吾桑地区住民会議、吾桑公民館の共催のもと、認知症講座を3回コースで実施予定です。

第1回 8月22日『認知症とは』 第2回 9月26日『認知症予防の為に、今できること』 第3回 10月24日『地域で支えるための徘徊模擬訓練』の3回の講座を通して、認知症という病気、予防、対応、支え合い、地域作りといった内容を皆で考えます。

第1回の講座は『認知症とは』をテーマに8月22日（火）午前10時より吾桑公民館で開催されました。



地域の住民を中心に39名の方が参加され、認知症疾患医療センターである一陽病院より永野看護部長を講師にお招きして、認知症とはどのような疾患であるかを教えていただきました。

「認知症の種類、原因や症状、早期受診すれば治る認知症もある」といったことや、「認知症の初期には本人自身も今まで当たり前にできていたことができなくなる苛立ち、情けなさ、先々の不安を一人で抱えている」といった当事者の心理面。また「認知症をサポートしていく上で大切なことは、認知症について正しく理解すること」「“認知症だけにはなりたくない”ではなく、介護者(家族)への支援も含め“認知症になっても安心して暮らせる地域づくり”を目指し、それぞれの立場で、できることから始めることが必要性」などをお話しいただきました。

『地域で認知症のことなど勉強会や講座を開きたい』など、ご希望がありましたら、一緒に企画を考えさせていただきます。お気軽に声掛け下さい♪

須崎市地域包括支援センター 0889-42-1206



行事のご案内 第40回 須崎市いきいき体育大会

老人体育大会から「須崎市いきいき体育大会」に名称をかえました！地区対抗、60歳以上の方ならだれでも参加できます！！

日 時：平成29年10月26日（木）午前10時より

場 所：須崎市立市民体育館（西古市町）

チーム：上分、安和・新莊、須崎西、須崎東、多ノ郷、吾桑、南、浦ノ内

主 催：須崎市老人クラブ連合会、社会福祉法人須崎市社会福祉協議会

後 援：高知県老人クラブ連合会、須崎市

参 加：各単位老人クラブに所属されていない方で参加を希望される方は、

須崎市老人クラブ連合会事務局（☎42-0736 担当:福田）までご連絡下さい。

第34回 須崎市社会福祉大会

市民のみなさまの多数のご参加お待ちしています！

★と き： 平成29年11月29日（水）午後1時30分より（予定）

★場 所： 須崎市立市民文化会館 大会議室

★内 容： 多年にわたる福祉活動貢献者に対する感謝及び表彰や地域福祉活動の実践報告・講演などを予定しています。

あつたかふれあいセンターまちなかサロン

ピカボラ ~この夏のピカッと光り輝く体験~

この夏のピカッと光り輝くボランティア体験 題してピカボラ・・・この呼びかけに須崎高校・須崎工業高校の生徒さんが8名参加してくださいました。

8店会では小学生の夏休みの宿題を見てもらう『お姉ちゃん・お兄ちゃん先生』・新町では高齢者さんとの『お話ボランティア』

初めは高校生・小学生ともに緊張気味でしたが、あっという間に距離も縮まり、宿題を見てもらった後にはそれぞれオセロや将棋・手芸・お絵描きで一緒に遊び、高齢者さんともお話がはずんでいる風景も見られました。参加した小学生からは、「またお兄ちゃん先生・お姉ちゃん先生に宿題を見てほしい」「もっと一緒に遊びたかった」と大好評でした。

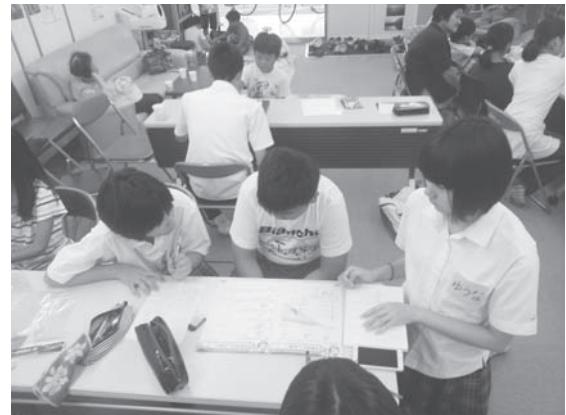
新町では高齢者さんとの色々な話の中には戦争体験などもあり、学生ボランティアさんも思わずメモを取るほど貴重な体験談を聞かせていただきました。

8店会・新町ともに学生ボランティアさんに入っていたことで多世代交流のとても良い時間を過ごさせていただきました。

高校生の皆さん、本当にありがとうございました。



〈布草履の日〉



〈8店会〉



〈新町〉

☆ピカボラ以外でも、明徳義塾高校の生徒さんがまちなかサロンでのボランティアとして関わってくれています。写真は、布草履の日の様子です。

あつたかふれあいセンターまちなかサロンでボランティアをしてみたいと思ったそこのあなた！！
ぜひ、ご連絡くださいね！！

新町 「ほんまに知っちゅう？認知症」

認知症について正しく理解し、認知症の方や家族に対して温かい目で見守り、認知症になっても安心して暮らしていく地域を目指そう！と、新町サテライトでは、月に1回、「認知症」を正しく知り、理解する日を設けています。

第1回目に、さくらの会代表の江西さんより自らの体験談、2回目はサポーター養成講座、3回目は、認知症予防と認知症の方への対応の仕方を話し合いました。4回目は包括支援センターによる「出張物忘れ相談（個別）」と、回を重ねるごとに、新町地区では認知症についての理解が深まっているようです。

これからのおほんまに知っちゅう？認知症の日時については、毎月発行の『まちなかサロンかわら版』（市役所・量販店に置いています）で日程をお確かめのうえ、ぜひ一度参加してみてくださいね。

障がい者スポーツレクを開催しました！！



須崎市社会福祉協議会では年に2回、スポーツを取り入れたレクリエーションを開催しています。8月24日（木）に本年度の1回目として高知県立美術館、障害者スポーツセンターへと出かけてきました。



美術館では四国初開催となる『チームラボ踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』を体験し、これまで見たことがないデジタルアートに参加者一同「不思議！」「すごい！」と感動しました。芸術を楽しんだ後は、障害者スポーツセンターでボッチャ、スローピーをワイワイと皆で楽しむことができました。春には2回目のスポーツレクを予定しています。

おすそわけソーコ

須崎市社会福祉協議会では、皆様からご寄付いただいた食糧品を、生活にお困りの方にお分けする『おすそわけソーコ』を実施しています。

ご寄付いただけるものがありましたら、お伺いいたしますのでご連絡ください。

《寄付していただきたいもの》

お米・麺類・インスタント食品・レトルト食品・乾物類・非常食など

- ※注意事項 ①賞味期限が1ヶ月以上あるもの ②未開封のもの
③常温で保存できるもの

お問合せ先：須崎市生活支援・総合相談センターほっと TEL：0889-40-0358

おすそわけソーコ 食糧品寄付御礼

食糧品をご寄付いただき誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。

上分	橋田 朝子 様	下郷	鍋島 憲二 様	下郷	鍋島 和男 様
下郷	田渕 陽男 様	谷岡 修 様	鍋島 勤 様		
田渕	宏実 様	堅田 淳 様	鍋島 真喜子 様		
田渕	弘勝 様				



香典・祝儀などのお返しは
須崎市社会福祉協議会
善意銀行へ

善意銀行は、皆様の善意をお預かりし
地域福祉の推進に活用させていただきます。

須崎市山手町1-7
(須崎市総合保健福祉センター内)
社会福祉法人 須崎市社会福祉協議会
「善意銀行」

○高橋道雄 様（須崎市押岡）
より、高橋初喜 様御逝去に
よる御香典料を社会福祉のた
めにと、ご寄付。
ありがとうございます。
こころ温まる善意に感謝し、
有効に活用させていただきま
す。

**須崎市社会福祉協議会
善意銀行・寄付お礼**

須崎市生活支援・総合相談センター ほつと

当センターでは、様々な困りごとや悩みを持っている方が、相談窓口を迷うことなくお問い合わせいただけるように開設しております。

障害者相談支援

障害があるために、仕事や日常生活などでうまくできないことや困ったことの相談に応じます。

日常生活自立支援

福祉サービスの利用や金銭管理などを、1人で判断するのが難しくお困りの方のお手伝いをします。

生活福祉資金貸付

低所得世帯や障害者世帯などを対象に、必要な資金の貸付と相談を行い、安定した暮らしを支援していきます。

生活困窮者自立相談支援

安定した暮らしができるように、相談支援員が困りごとと一緒に整理し、支援していきます。

困りごとに応じて相談支援員がお手伝い致します。お電話でも来所して頂いてもかまいません。一人で悩まず、まずはご相談ください。



問い合わせ先：須崎市生活支援・総合相談センターほつと TEL：0889-40-0358



ヘルパー室より

『介護予防・日常生活支援総合事業』について

介護のピークは85歳と言われています。団塊の世代が85歳に到達する2025年をピークに介護給付費が上がり、介護保険財政が逼迫していくと言われています。

この問題を解決するため、要支援1・要支援2の軽度者を対象に、通所介護（日帰りでデイサービスに通い、食事や入浴など日常生活上の介護や機能訓練などを受けることのできるサービス）や、訪問介護（ホームヘルパーが利用者の居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事などの介護や調理、洗濯、掃除などの家事を行うサービス）を利用している方については、全国一律の介護保険制度ではなく、自治体（須崎市の事業）によって単価を決められる総合事業へ徐々に移行しています。



登録ヘルパー募集中

応募資格

- ・介護福祉士、ヘルパー1・2級または看護師の資格をお持ちの方
- ・ヘルパー業務の経験のある方
- ・年齢60才未満の方

業務内容

- ・身体介護 詳細は面談にてご説明します。
- ・生活援助 まずはお電話にてお問い合わせ下さい。
連絡先：TEL 42-0789（ヘルパー室）